八尾のまちの弁護士のつぶやき

八尾で地域に根ざした活動をされている阿吽法律事務所の弁護士、
高木先生によるコラムを掲載させていただくことになりました!!

敵国発祥のスポーツ(!?)を観戦しました

阿吽法律事務所の髙木です。

ライオンズクラブの活動を通じてお知り合いとなった他クラブの方のお誘いで初めてナゴヤドームに行ってきました。お誘いいただいたのは、和田山出身＆在住であるにもかかわらず何故かドラゴンズファンという珍しい方で、私が由緒正しいジャイアンツファンであることを知って、ナゴヤドームのジャイアンツ戦にお誘いいただいた次第です。さらに地元の他クラブのドラゴンズファンも加わり、少々肩身の狭い観戦となりましたが、岡本のホームラン等で松坂を粉砕しジャイアンツファンとしては胸のすく試合となりました。こうしたクラブ間を超えての友だちづきあいができるのもライオンズクラブの良いところです。

さて、今年のセントラルリーグはカープが３連覇を果たしました。我がジャインアンツはクライマックスシリーズ進出の可能性は残しているとはいえ勝率５割を切る残念な結果となりました。ファン目線からしても勝率５割に満たないチームがクライマックスシリーズに進出するのもどうかと思いますが･･･。これで４年連続リーグ優勝を逃したことになりますが、２リーブ分裂後２度目のことで最長期間タイです。今年は４番に定着をした岡本を筆頭に新戦力が続々と台頭してきていますので、来年以降に期待したいと思います。まあ４年連続リーグ優勝を逃したと行ってもタイガースに比べればどうってことはないと負け惜しみも付け加えておきましょう。

ところで、岡所長はどのチームのファンであるのか皆さんご存じでしょうか。私が小耳に挟んだところでは「敵国発祥のスポーツに興味はない！」と断言されているそうで、流石日本男児岡所長と言っておきましょう。

阿吽（あうん）法律事務所
弁護士　髙 木 陽 一
http://www.aun-law.com
八尾市東本町3-9-19
リバティ八尾612号
TEL 072-990-5007
FAX 072-990-5008

プロフィール

昭和36年生まれ。
大阪市立大学法学部卒業。
大阪地裁、那覇地家裁裁判官（判事補）を経て、平成19年西天満に阿吽法律事務所を開設。
平成20年阿吽法律事務所を八尾に移転。

あとがき

９月４日に大阪を襲った台風は大きな被害をもたらせました。
どうも大阪人は災害に対して自分たちは大丈夫と思いがちです。
今までも台風直撃と言われながら、ほとんど被害のない経験をしていましたから。
看板が飛んだり樹木がへし折れたりしたことは想像もしていませんでした。
今でも補修が追い付かず、同業者の方から応援を頼まれることも多いです。ただ、私どもの建てている板倉造りの家は目立った被害も少なかったようです。
でもでも、何が起こるかわかりません。
気持ちを引き締めて、家づくりをいたします。　　オカ

（有）丹陽社 一級建築士事務所
代表取締役　岡　巌

プロフィール

大阪市天王寺区に生まれる。
近畿大学理工学部 建築学科卒業。
小さいときは、おもちゃの刀を振り回すワルガキだったが、成長した今、お花とお酒を愛する穏やかな人物です･･･？？
大学のゼミの先生の関連する建築会社にて設計と施工を学び97年独立。

一級建築士／一級建築施工管理士
日本板倉建築協会 理事
統括設計専攻建築士／大阪府建築士会
一般社団法人錬信会 理事／無双直伝英信流 居合道教士七段
八尾ライオンズクラブ
八尾市倫理法人会

板倉造りの家
咲庵 show'un

咲庵show'un 板倉造り 無垢の家
有限会社　丹 陽 社　一級建築士事務所
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町5丁目4-17-904 上本町アルティスクエア9F
TEL 06-6764-1956　FAX 06-6764-1957　Email show1un@tanyosha.co.jp
http://www.tanyosha.co.jp
facebook も定期的に更新中！

咲庵通信 show'un leaflet

2018
10
vol.135

もくじ

丹陽社所長 オカのコラム

「木造都市の可能性」
木の建物でも火を防ぐことができる！！

Message

先日は、大きな台風が日本列島を襲い、
またすぐに北海道に地震が起こりました。
その前は、広島岡山に水害が起こり大阪北部でも地震がありました。
日本全体が大揺れに揺れている感じもあります。

被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

これからまた、何が起こるかわかりませんよね。
できるだけ平常心を心がけたいものです。
どんな時もルーティンを維持したいものですね。

oka

丹陽社の現場リポート
八尾の自然素材
リフォームが進んでいます

暮らしの豆知識
秋服＆冬服
見直しのタイミング

八尾のまちの弁護士のつぶやき
敵国発祥のスポーツ(!?)
を観戦しました

丹陽社
所長 オカの
コラム

「木造都市の可能性」
木の建物でも火を防ぐことができる！！

先日、大阪歴史博物館で行われた日本板倉建築協会のセミナーで、安井先生の木造防火の講義がありました。

建築防火界のトップランナー、安井昇先生は、数々の実験を通して、**「木は簡単には燃え広がらない。木の建物でも火を防ぐことができる」**ということを証明し続け、木造の可能性を広げている方です。

今までの実験では、3階建の学校をコンクリートや鉄骨でなく、木造でつくれるようにするために、本当に実験用木造校舎を作り、火をつけて（！）実大実験を行いました。

そして、2015年から3階建の学校建築を木でつくることが可能になりました。
その時の内輪の話ですが、実験は大成功だったのですが火の粉が予想以上に飛んで近くのビニールハウスに穴をあけ平謝りに謝られたそうです。それだけではなく、杉板壁の燃焼実験等多くの実験を重ねられ、木の建物でも十分火を防ぐことができると証明され、都市の木造化がどんどん容易になって来ています。

安井昇先生プロフィール

桜設計集団一級建築士事務所代表

早稲田大学理工学部研究所招聘研究員、東京都市大学非常勤講師、NPO法人teamTimberize副理事長、NPO法人木の建築フォラム理事

安井先生は、**木造建築において「燃え広がる条件が、一つでも揃わなければ、火事にはならない」**という防火の考え方を学ぶため、「安井式焼杉づくり」を色々なところで行なっています。

焼杉は日本の建物では外壁などに多く使われてきました。私たちが設計する建物にもよく使用するこの焼杉には、腐敗菌、火災に強い、熱伝導が低い、調湿効果があるなど多くの利点があります。

「安井式焼杉づくり」の焼杉製造実験は以下の手順で行われました。

①杉板三枚を三角柱型に組み合わせ、燃えないよう濡らした縄で縛る。その際、縄と板の間に楔を差し込み締める。

②丸めた新聞紙を三角柱の端に詰めて点火する。かつては新聞紙ではなく、鉋屑が使われていた。

③三角柱を立てると、煙突状になった板の内側が燃え始める。炎の出が弱い箇所には、板と板の間に鎌を差し込んで隙間をこじ開け、空気を送り込む。

④板の表面が十分に焼けたら、三角柱を寝かせて縄を解き、水に入れて冷やす。燃焼時間は5分程度。

杉板を組み合わせた三角柱の下から詰めた新聞紙に着火すると、柱下部から煙突効果で**「フラッシュオーバー」**を起こします。そうすると、中は酸素の通り道ができトンネル効果で800℃以上の高温となり、ゴオゴオと音がするほど燃えていますが、外からは手で触っても大丈夫。木は断熱するので、裏が三分くらい燃えても、少しホカホカする程度です。

「この形と規模と時間なら、外には絶対に燃え移らない」と断言する安井先生。安井先生は100回以上燃やしているので素手ですが、近くにいても全く熱くありません。杉板には水分が含まれているので、燃えている木の裏側の温度は100℃以上にはならないのです。

見事完成して広げると、木材の表面は燃えて炭化層となり、付近に可燃物がなくなるのですぐに自然消火されます。杉板が、自身を燃やす熱エネルギーを維持できないからです。

こういった、火の性質を体験から学ぶことを安井先生は**「火育」**と呼んでいます。

「火のことって、結構知らない人が多い。**火を知れば、火事にならないためにどうすればいいか、自然とイメージできるようになる。**設計者はそのイメージを持って図面を書いて欲しい」と安井先生は言われているのです。

日本の木造の中大規模建築物を作るのに障害になっているのが『耐震』と『防火』です。これらのハードルは、徐々に実験によって取り去られつつあります。

木組みの木造都市ができる可能性が大いに広がってきています。

写真引用元：『桜設計集団ホームページ』http://www.teamsakura.jp/top.php
『焼杉づくりで「火育」！安井昇先生の「木造建築の防火」』
https://www.forest.ac.jp/academy-archives/fire_yasui2017/

10月のイベントのお知らせ 要申込・参加費無料

『自然を感じる無垢の家』見学会

10月のイベントは、『自然を感じる無垢の家』の見学会を開催いたします。
薪ストーブや石釜を活用したアトリエ兼別荘の、風が通り抜ける心地よいおうちです。
板倉造りの家を体感できる貴重な機会です。是非ご参加お待ちしています。

日時 10月20日（土）14:00〜16:00

場所 和歌山県九度山周辺　**お申込方法** HP・電話にてお申込みください。

丹陽社の
現場リポート

丹陽社の見学会の様子や、工事の進捗状況を報告していきます♪

八尾の自然素材リフォームが進んでいます

引き続き、大阪府八尾市弓削の自然素材を使った戸建リフォームが進んでいます。大方の工事は終了し、素敵な空間が仕上がっています。ラストスパートです！

暮らしの豆知識

衣替えの季節に洋服の整頓をしてみましょう！

今こそ 秋服＆冬服 見直しのタイミング

大切な服を残してより快適な暮らしに

衣類を見直す前に、まずはライフスタイルに合わせた必要な服の量など、自分なりの基準を定めましょう。合わせて、使いやすい状態で収納できる量を想定することも大切です。ひとつひとつの衣類を見直すときには、まず去年の秋冬に着たかどうか、これから着ることがあるかどうか。プラスして、似た色やデザインの服がないかどうかもチェックしながら選びます。
またちょっとくたびれたものについては、つくろいなどの手間をかけても持っていたい服かどうかを、見直しの基準のひとつとしてもいいかもしれません。

長く大切に着ていくための
服のつくろい&お手入れ

見直しをひとつの機会として、これからも着る服は、毛玉をとったり、ほつれや穴をつくろったりしてしまいましょう。長く愛用できるように、そしていざ使うときに気持ちよく使うための準備です。

捨てるのはもったいない！
着ない服の再利用術

着なくなった服は、古着を扱うショップに売ったり、古着を集めているボランティア団体に寄付したりするなど、捨てる以外の選択肢もあります。服の状態にあわせ適切な選択を。